

課題解決活動プログラム

活動名	(4) 諫早コミュニケーションアドベンチャープログラム (I-CAP)			
内容	<p>体験活動サイクルを生かした様々な班活動を通して、個人と班の成長を促すプログラムです。</p> <p>※プロジェクトアドベンチャー (PA) の手法を基盤にしたグループワークを通して、協調性や信頼感を高めるプログラムです。</p> <p>グループ内の人間関係を深めること等を目的とした課題解決活動に取り組み、お互いに声をかけ合い、楽しみながら、創意工夫して課題を達成していく喜びを味わえます。活動にはいくつかの種類がありますが、目的に応じて組み合わせることで実施します。単なるレクリエーションではありませんので、実施の際には、参加者の実態と目的を明らかにして、狙いに沿った指導を進めていきます。指導は専門的なトレーニングを受けた自然の家職員や、外部指導員、研修を受けた引率者が行います。</p>			
条件	場所	班ごとに場所を割り振ります	対象	小学校3年生以上
	時間	1 単位 (3 時間) 1 班あたり 8,000 円	人数	1 グループ 8 人～20 人 最大 3 班程度
	時期	通年	天候	雨天可
期待される教育効果	<p>(1) 協調性や他者への信頼感を育む。</p> <p>(2) 自己肯定感、自己有用感を育み、自信をつける。</p> <p>(3) グループワークを通し、コミュニケーション力を高める。</p> <p>(4) グループの凝集力を高め、チームビルドや仲間づくりに役立つ。</p>			
準備物	自然の家が貸し出す物		団体 (個人) が準備する物	
	<input type="checkbox"/> PA グッズ (フープ, マット, ロープ等) <input type="checkbox"/> 各種用具 <input type="checkbox"/> ストップウォッチ <input type="checkbox"/> ペン <input type="checkbox"/> 無線機 ※自主で行う場合		<input type="checkbox"/> 動きやすい服装 (長袖, 長ズボン, 運動靴) <input type="checkbox"/> 体育館シューズ (プレイホールの場合) <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 雨具 (雨天時) <input type="checkbox"/> 救急用品 <input type="checkbox"/> 虫よけスプレー	
展開	<p>1. 事前 (準備)</p> <p>(1) 電話やメールで申し込みをする。(指導者の手配があるため、2 カ月前までに申し込む。)</p> <p>(2) その際、希望日、ねらい、人数、班数、年齢構成などを伝える。(学校等の早期予約団体については、その際に申し込む。)</p> <p>(3) 引率者は事前調査票に必要事項を記入し、利用 1 ヶ月前に自然の家に FAX 又はメールで送る。(必要に応じて事前に打ち合わせを行う。)</p> <p>(4) 当日、30 分前に代表者はファシリテーターと参加者の状況確認と実施方法の最終確認をする。</p> <p>2. 活動</p> <p>(1) 各班に分かれて活動を開始します。</p> <p>(2) 指定された場所で、日程 (開始・終了時刻等) と活動場所を確認する。</p> <p>(3) 「アイスブレイク」という班の緊張状態をほぐす活動をしながら、班の学びの環境を築いていきます。</p> <p>(4) 班の状態によって、目的を持ったアクティビティや振り返りを繰り返し行い、学びを深めていきます。</p> <p>(5) ロープスコース (屋外) を使ったアクティビティに発展することもあります。天候やグループの状態によって、使用しないこともあります。</p> <p>(6) 活動中は要所でふりかえりを行い、体験から得られた「気づき」「学び」を大切に、言語化できるように支援します。</p> <p>(7) 活動終了後、各班に同行している引率者へ引き継ぎます。</p> <p>3. 事後 (片付け)</p> <p>代表者は事務室に貸出物品を返却する。(自主活動の場合)</p>			

	<p>4. 引率者の役割</p> <p>(1) 各班に必ず1名の引率者が帯同する。</p> <p>(2) 活動の様子を見守り、参加者の変容を記録シートに記入する。</p> <p>(3) 参加者の学びの機会を失うような発言や行動は慎む。</p> <p>(4) 必要に応じて引率者に参加を呼びかける場合もあります。</p> <p>(5) 活動中体調が悪くなった参加者、けがをした参加者の対応をする。</p> <p>5. 留意事項</p> <p>(1) このプログラムは即効性があるわけではありません。班の変容を促す「きっかけづくりの場」と考えください。</p> <p>(2) ロープスコースのエレメントについては、団体の目的や班の状態、活動時間等によって使用するかどうかをファシリテーターが判断します。</p>
<p>安全管理 ポイント</p>	<p><input type="checkbox"/> 活動中は天候に注意する。(雨天時でも活動可能だが、雷鳴が聞こえたら中止)</p> <p><input type="checkbox"/> ゲームによっては危険な体勢をとることがあるので、注意して監督する。</p> <p><input type="checkbox"/> 熱中症に注意し、水分を十分にとる。</p> <p><input type="checkbox"/> 休憩時間に事故が起こりやすいので、休憩中も目を離さない。エレメントや活動に使用する道具を勝手に使わない。</p> <p><input type="checkbox"/> 移動時の転倒に注意する。</p> <p><input type="checkbox"/> 県道横断時は通行車両に十分注意する。</p>